

泉公民館で 初めてののつるしびな展開催

最近では住宅事情もあり、広い場所を必要とする段飾りのひな人形よりも、コンパクトな一〜三段飾りが主流となってきました。また、テレビの特集などの影響もあり、日本の各地でつるしびな展が行われるようになってきました。



泉公民館では平成二十五年十一月から月一回、酒井ミトリ先生によるつるしびな教室を開いています。生徒数は十人ほど。つるしびな展を開催するために、昨年から月二回の教室になりました。少しでも多くの作品を展示して来場してくれた方々に楽しんでいただく



うと、泉地区に住んでいる方を中心に声掛けをして、作品を集めました。この教室の生徒さんの以外の作品も数多く展示してあります。また、泉保育所の子どもたちにも声掛けをして、展示物を作ってもらいました。一番上のひな人形は小さなクラスの子の



園児の足型をひな人形の体に見立てて

足型を人形の体に見立てて、二番目のひな人形では顔出しパネルから子どもたちが顔を出した写真が入っています。このおひな様を大きくした時に見返すと、成長を感じることもでき、きっと懐かしそうでしょう。とてもかわいらしい作品でした。(K・H)

女子ソフトボールチームが 結成されました

昨年九月に女子ソフトボールチーム「スライダー」(イタリヤ語で挑戦の意味)を立ち上げた代表の中澤紀雄さん(五十二歳)と監督の石川博之さん(五十歳)にお話を聞きました。



ム、ヘルメットなど用具を購入する資金を集めるのに苦労しました。幸いなことに四つの団体、個人の協賛を得て、その寄付金で何とかスタートすることが出来ました。

●チーム立ち上げのきっかけは？
学童や中学校でソフトボールをしていたが、「続けたいけれど矢板市内には女子のチームがない」と複数の方が話しているのを耳にしました。
自分たちも男子チームでプレイしているし、審判もしていて、ソフトボールの面白さが分かっているのので二人で相談し、女子ソフトボールチームを立ち上げることにしました。

●メンバーの構成は？
最年長のアラフィフの方を含めて、現在十三人が加入しています。高校・専門学校生が八人、主婦が三人、社会人が二人で、月に二〜三回練習しています。



メンバー募集中!!
私たちと一緒にソフトボールをしませんか?

●課題は何でしょうか？
学生が多いので会費は多くは徴収できません。そのため運営費用の捻出に頭を悩ましています。
練習するにもグラウンド確保が難しい状態です。練習は土曜日から日曜日になり、予約を取るのに苦労します。

●次の目標は何ですか？
県大会で良い成績をあげ、全国大会に出場することが目標です。
そのためには、練習試合を多くしていきたいし、メンバーももっと増やしたいと思っています。(T・M)